

2005年6月23日

地球温暖化防止の取組み「チーム・マイナス6%」に参加 ～オフィスの冷房設定温度を見直し、「クール・ビズ」の推進～

住友林業株式会社（本社：東京都千代田区、社長：矢野 龍）は、環境省が推進する地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加します。

京都議定書が平成17年2月16日に発行し、深刻な問題となっている地球温暖化に対し、日本は温室効果ガス排出量6%の削減を目標としています。「チーム・マイナス6%」とは、この目標を実現するための国民的プロジェクトです。小泉首相がチームリーダーとなり、国民、企業に呼びかけられたもので、私達一人ひとりができることから実践していくCO2削減のための6つのアクションプランが設定されています。

当社は、今期環境予算で、「CO2排出量削減」を当社及び国内グループ会社全社の共通目標として掲げ、グループ全体での「オフィス活動、社有車、持込営業車、工場の生産活動における電力、燃料、ガスの消費に伴うCO2排出量削減」に取り組んでいます。そして「チーム・マイナス6%」プロジェクト参加企業として、以下の取組みを推進していきます。

■住友林業グループの取組み

冷房設定温度を見直し、「クール・ビズ」の推進
事務所照明の必要部分のみ点灯と退社時の消灯徹底
パソコン、プリンター、コピー機等未使用時の電源OFFの徹底
車両のアイドリングストップ、経済走行の実施
社有車、工事車両の低燃費車への切り替え
生産工場の省エネルギー化
国産材の利用、省エネ住宅・機器販売等、地球温暖化防止につながる取組み

環境省では、地球温暖化を防止するため、夏のオフィスの冷房設定温度を28度とし、ビジネスシーンでの「夏の軽装」を「クール・ビズ（COOL BIZ）」と名付け、推進しています。上着を脱いで、ネクタイをはずすと体感温度は2度下がると言われています。当社においても、各事業所でのオフィスの冷房設定温度28度を目標として設定温度の見直しを行うとともに、涼しく効率的に働くことができる「クール・ビズ」を導入してノーネクタイを推進し、CO2などの温室効果ガスの排出削減に向け努力していきます。

当社は、「森のちからを、未来のちからに。」をCIスローガンとしております。環境保全と調和のとれた活力ある企業活動により、地球上で唯一再生可能な天然資源である「木」を活かした事業を通して、サステナブルな社会の実現をめざし『総合住生活関連事業をグローバルに展開』していきます。

【地球温暖化防止「チームマイナス6%」活動推進のシンボルマーク】



■ご参考

<<環境省の温暖化防止行動の呼びかけ（6つのアクションプラン）>>

- 冷房は28度に設定しよう（温度調節で減らそう）
- 蛇口はこまめにしめよう（水道の使い方で減らそう）
- エコ製品を選んで買おう（商品の選び方で減らそう）
- アイドリングをなくそう（自動車の使い方で減らそう）
- 過剰包装を断ろう（買い物とゴミで減らそう）
- コンセントをこまめに抜こう（電気の使い方で減らそう）

<本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・佐藤

東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)

TEL: 03-3214-2270